

平成30年2月1日

他自治体における「いのちの授業」実践例

<川越市>

・子育て体験学習「いのちの講座～赤ちゃんが学校にやってくる～」

NPO法人川越子育てネットワークによる事業。平成22年度に川越市に提案型事業として採用してもらったのをきっかけに、川越市内の中学校に出向き、「妊婦体験」や「赤ちゃん交流体験」を行っている。平成27年度からは、要望により、近隣市町村の中学校でも実施している。

<千葉県>

毎年、**いのちを大切に作るキャンペーン**を実施。平成18年3月に県が作成した「いのちを大切に作るキャンペーン」実践事例集を参考に、公立の小・中・高・特別支援学校が、各々で年間計画を立てて行っている。

例) 自分たちでもできる交流活動～デイサービスとの交流を通して～

地域のお年寄りと交流することによって、相手の立場を思いやる心を育成し、「思いやりの心」や「命の尊さ」「命の大切さ」について理解させることを目的としている。

<神奈川県>

「いのちの授業」の取組みを推進。ホームページに掲載されている実践例を参考に、各校が実施している。

例) いのちの対話集会

不登校、摂食障害、自傷や反社会的行動など、心に問題を抱えた若者が増えていく中で、精神科医の先生を講師に招き「こころと命の対話集会」を開催することによって、生徒たちが抱える悩みや問題を共有し、考え、理解し合うことを目的としている。